

第 6 回 大町市景観計画検討委員会 会議録

1. 会議概要

(1) 会議名 第 6 回 大町市景観計画検討委員会

(2) 日 時 令和 7 年 2 月 7 日 (金) 13 : 00 ~ 15 : 00

(3) 場 所 大町市役所西庁舎 2 階 西会議室

(4) 出席者

委 員 : 亀山会長、宮永委員、荒井委員、小日向委員、続麻委員、一條委員

遠藤委員、曾根原委員、竹内委員、倉石委員、丸山委員代理

欠席者 : 中山委員、降旗委員、川上委員、水野委員、山崎委員 (丸山代理)

事務局等 : 駒澤建設水道部長

建設課 : 松田課長、吉原係長、矢口主査、吉川主任

株式会社 K R C : 小林、長尾

(5) 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

1) 経過及び本日の委員会の位置づけ (資料 1)

2) 意見対応及び大町市景観計画 (素案) について (資料 2 ~ 5)

4 その他

5 閉会

(6) 配布資料

・次第 第 6 回 大町市景観計画検討委員会

・資料 1 本日の会議の位置づけ

・資料 2 第 5 回 大町市景観計画検討委員会 会議録及び意見対応

・資料 3 パブリックコメント実施報告及び意見対応

・資料 4 長野県都市・まちづくり課からの意見等への対応

・資料 5 大町市景観計画 (素案)

2. 議事要録

1) 経過及び本日の委員会の位置づけ

資料1により、第6回委員会における確認・検討事項について事務局から説明。

○亀山会長

資料1について、何かお気づきの点はあるか。今日が一応最後の会議であるが、今後の進行状況によっては追加の会議を開催する可能性があることをご了承いただきたい。

→質問なし。

2) 意見対応及び大町市景観計画（素案）について

資料2の第5回会議録については主な意見の概要と対応状況を説明し、質疑応答を行った。発言内容の修正等がある場合は、後ほど事務局へお申し出いただくことを確認。

資料3によりパブリックコメントの実施報告及び意見対応を、資料4により長野県都市・まちづくり課からの意見対応を説明し、質疑応答を行った。

資料5により、意見対応後の大町市景観計画（素案）について、質疑応答を行った。

■資料2 説明後

○一條委員

資料2の3ページでは「自然が織り成す景」と修正したと説明があったが、資料5の19ページでは「自然の織り成す景」となっている。

○事務局：吉川主任

「自然の織り成す景」が正しい。統一させていただく。

○亀山会長

詳細な内容については、後ほど資料5で説明していただく。

■資料3，4 説明後

○亀山会長

私は色々な委員会に参加させていただいているが、パブリックコメントでこんなに細かく読んでいただき、これほどきめ細かいご意見をいただいたのは初めてだと思う。非常に熱心に読んでいただき、関心が高いということを感じた。

現在の説明に基づいて意見対応を行うとのことだが、この委員会として、この意見対応でよいか、お気づきの点があればご意見をいただきたい。

○宮永委員

松糸道路について、全体的に皆さんの関心が高く、景観についてもご意見をいただいた。松糸道路は経済面でも必要であり、経済を回す仕組みが重要だと考えている。道の駅をつくるということも聞いているが、そこに大町市の北アルプスの景観を一望できるような場所をつくるとよい。あそこの景色はよいということが周知され、観光資源にもなるため、そういうことも県に要望として上げていただければよい。そこに来たお客様が留まり、景色を楽しみ、物を買ったり、飲食ができる場によって、景観が守らながら経済が回っていくと考えている。

○亀山会長

松糸道路については後ほど資料5で説明があるが、計画のなかに新たに一項目を設けて、対応について記載した。どちらかというと松糸道路は景観を阻害するという要因としてご意見をいただいていたが、風景を見る場を設定しながら、景観について考えていくことが必要だというご意見であった。資料3のなかでも、ここを眺望点にしたらいののではないかとというご意見をいただいている。今後見直していくところがあると思うが、市の対応について説明をいただきたい。

○事務局：吉川主任

まだ松糸道路に関して設計段階に入っておらず、具体的なルートも決まっていない。景観を心配する声もある一方で、経済、商業、観光等の面から、大町市としては総合計画や都市計画マスタープランのなかで、必要な道路と位置付けている。道路を設計するにあたり、景観に配慮しつつ、大町市にとって有益な道路になるように設計を県にお願いしていく。ビュースポットとしてだけではなく、建設後には道路そのものも景観づくり重点地域として設定し、景観を最大限に活かすよう、検討や県との意見交換をしていく。

○亀山会長

松糸道路は高規格道路だが、サービスエリアやパーキングエリアはできるのか。

○事務局：松田課長

地域高規格道路は制限速度など、高速道路に比べて一段階下がるが、基本的には信号機のない道路になる。大町市としては経済、商業、観光等の活性化を考え、道の駅構想に向けた検討を今年より進めることになっている。現時点で細いルートが決まっていないことから、位置等については今後検討していく。地域高規格道路にはサービスエリアやパーキングエリアは基本的に設置しない。地域高規格道路や一般道から入れる道の駅を今後検討していく。

○亀山会長

道の駅は地元負担となるが、つくれるのか。

○事務局：松田課長

松糸道路は国道のバイパスとして位置づけられる予定。豊丘村では村道でも道の駅が設置され、道路施設として補助金で使られていおる。つくり方の選択肢はたくさんある。

○亀山会長

これまでに、高速道路のサービスエリアをどこに設置すればよいかなど様々な調査を行ってきたが、道路をつくる方は道路をつくることに一生懸命で、どこに休憩施設をつくるかという発想がないという特徴がある。地域からこういうところにこういう施設があるとよいということを積極的に発言していかないとなかなか実現しない。地域のことを考えるのであれば、地元でどう使うかということも検討していく必要がある。

○亀山会長

その他、とくにご意見はないため、このような形でパブリックコメントに対する回答していくということでお認めいただきたい。

→一同了承。

■景観計画素案（資料５）説明後

○亀山会長

キャプションに図表と記載されているが、図は図、表は表で分けて記載してほしい。32 ページは表、それ以前は写真も含めて全て図になる。33 ページからは番号が振られていないため、こちらにもキャプションが必要。

46 ページに 6.3 の項目を新しく設けていただいたが、松糸系魚川連絡道路には（１）の番号がついている。（２）以降は存在しないのか。

○事務局：吉川主任

当面の課題として大きなものを挙げさせていただいた。（１）という記載は削除する。

○一條委員

9、10 ページは他のページと比べてゴチャゴチャしていて読みづらい。4 ページ程度を割いて、市民がどんな意識をもっているか、特徴がわかるような表現にしていきたい。現在の文章は、しっかり読まないと、どこに魅力を感じているかなどわかりづらい。整理して、他のページと同レベルに読みやすくしていきたい。

○亀山会長

結論を明確にし、できるだけわかりやすく書いていただけるとよい。

○一條委員

24 ページの図表 2.5 について、「企業による教育活動」とあるが、企業と限定する意味はあるのか。

○事務局：吉川主任

教育活動という表現をしているが、どちらかというところ啓発活動のイメージである。ご意見を踏まえ、教育や啓発、企業という記載が適切か検討していく。

○一條委員

要望であるが、23 ページで取組例を入れていただいたが、もう少し具体的な実行計画のようなものが記載されるとよい。概略的なことしか記載されておらず、具体性がない。入れられる範囲でよいので、いつまでに何をするかなどを掲載してほしい。きちんと決めないと何もされない気がするが、入れると逆に制約ができて難しいのかとも思うが、ご検討いただきたい。

○事務局：KRC 小林

取組主体を縦軸にとり、横軸を短期・中期・長期にわけて、どのような展開像があるかは記載できるかと思う。住民懇談会でいただいた取組のアイデアなど、組み込める範囲で検討する。

○亀山会長

24 ページの図表 2.1 が、23 ページの文中で引用されていない。図が入っているならば文中にも記載があると関係性がわかりやすい。

○事務局：KRC 小林

図表 2.1 は唐突感がある。図表 2.2～2.7 に入っている取組がどのタイミングで実行されるのか表になればわかりやすく、必ずしも図表 2.1 が必要というわけではないため、ご指摘を踏まえて 24 ペ

ージの図表全般を再整理し、再検討させていただく。

○亀山会長

42 ページの表には番号が入っているが、図には番号が入っていない。図にも番号を入れた方がわかりやすい。これらの眺望点の写真はどこかに入っているのか、対応ページの記載はあるか。

○事務局：KRC 小林

41 ページに記載があるが、ページ番号がずれているため修正する。

○宮永委員

パブリックコメント（資料3の6ページ）にも意見があったが、教育面について一言。23 ページに（2）地域への愛着や誇りを育む景観づくりで、「景観の魅力を語れる人材の育成」とあるが、育成をするにしても小さいころからの教育が大事であることをどこかに記載していただきたい。自然と人材育成ができるようにするためには、小さいころからの教育や意識づけが重要である。

○事務局：吉川主任

教育という観点から、行政としては学ぶ機会の提供等が必要だと考えている。取組は今後検討していくが、計画書内での表現についても検討していく。23、24 ページの再構成で入れ込めればと考えている。

○亀山会長

今日は最後の委員会であるため、皆様から一言ずついただきたい。

○宮永委員

一番気になっていることが、山岳のまちでありながら、大町駅を降りたときに山が見えない。ぜひ JR と共同で意見交換しながら、駅付近に高台を設け、展望できる場所があれば、来訪者もよい所に来たと実感できる。

○亀山会長

駅舎を見ると大町に来たという気分になるが、山が見えない。

○小日向委員

先程教育についての意見があったが、私は7年前から大町西小のコミュニティスクールの学習支援の代表で、子どもたちの英語教育のボランティアを行っている。西小の学校理念として、「仁科の里に学ぶ」という教育方針がある。今の子どもたちはこんなによい環境に育っているのに、外で遊んだり、山に行く、川に行くという機会が少なくなっている。「美しい大町に美しく暮らす」というテーマのなかで、子どもたちが家庭のなかで、大町という素敵なまちで育っているということを親御さんから教育していただく。家庭環境によって外による機会が少ない子どもがいるなかで、学校で如何に多くの体験をさせてあげられるか、コミュニティスクールで率先してやっており、川の清掃や田んぼでの稲作体験、山の子村の整備などを行っている。スキー教室なども含め、実際に体験することで、子どもの教育で大町を大事にする気持ちや、将来帰ってきてくれるような心が育まれるため、この計画のなかにも、子どもたちによりよい環境をという観点を記載していただきたい。

○亀山会長

子どもたちと景観も大事な視点だと思う。

○続麻委員

桜並木の通りについて、サクラの時期はこれからであるが、4月に向けて剪定作業などを市の方でやっていただいている。冬の時期もインバウンドの方など、歩いている方が多く、その雪かきを行っていた。これだけの資料を作っていただき、我々も引き続き景観の面で協力していきたいと思っている。引き続きよろしくお願いいたします。

○一條委員

大町市の魅力は全国有数のよいまちである。これだけのものがあり、住民の方も意識されているのに、PRが不足している。私も大町市を知っているつもりではあるが、知らない魅力もあった。きちんとPRし、道の駅で景色のよい場所をつくることなどが効果的だと思う。全国の道の駅でも、駐車場は満車、パン屋も2～3時間待ちという人気の道の駅もあるが、全くガラガラの道の駅もある。せっかくつくるのであれば、魅力のある、全国的にも人気ランキングにも上がるようなものをつくり、発信していったほしい。

○遠藤委員

計画素案の写真を見て、大町のよいところの写真を使っていると思った。四季折々の自然に囲まれている一方で、PR不足の面も否めないと感じた。観光協会でも積極的にPRしていきたい。

○竹内委員

景観を考える上で、思想的なものだけではなく、観光や商工など様々な観点が含まれ、景観と一言で語るとは難しいと感じた。自分の仕事や活動のなかで、住みよいまちや住環境を整えることを基本とし、住む方がまちに誇りを持って暮らしていけると考えている。自分の仕事上でもそのような気持ちで取り組んでいきたい。

○倉石委員

長野市に住んでおり、松本が勤務先で、毎日しなので通勤している。住民の皆さんが地域の事に対して愛があるということに驚いた。パブリックコメントを見ると様々な意見があり、これほどたくさん意見が集まったのは初めて見た。まずは小学生から、この計画を授業に取り入れ、大町を大事にしていきたい。今の時代、企業はなくともできる商売として、毎日自然の景色をネットにアップすることでも、魅力を感じて来訪していただいたり、ユーチューバーに住み着いていただき発信してもらうなどの商売ができるのではないかと考えている。非常に住民の方の意識が高いまちだと感じた。私の会社は電柱に広告を付ける仕事为主であるが、日頃から景観を害しない、調和したものを心がけていきたい。しなので通勤する際、よく外国人が乗っているが、明科のトンネルを抜けると大町方面を見て歓声を上げる。そういう人たちにPR効果があると思うため、有効に活用していきたい。

○丸山委員代理

今日は山崎委員の代わりに出席している。私は建築係長で、現時点では景観法の届出などを担っている。今後大町市が自ら対応していただくことになるが、より身近な行政団体が関わってくれることは県としては望ましい。県が景観から手を引くというわけではなく、当然大町市をバックアップしていく。事業者としても深く関わっていくため、引き続き惜しみない協力をさせていただく。

○駒澤建設水道部長

今日の委員会で一区切りということで、一言皆様に御礼申し上げたい。6回の委員会のなか、お忙しい中ご出席いただき、貴重なご意見をいただいたことに厚く御礼申し上げる。景観について、パブリックコメントでも多くの皆様からお声をいただき、委員の皆様からも貴重な意見をいただいたことに、私どもは大変ありがたく思っている。本計画は皆様の熱い思いでできたもので、これから本計画をいかに実践していくかが今後の役割である。小さいころからの教育というところから、子どもたちにも景観を学んでいただき、現役世代は当然景観を守っていく。我々も皆様の熱い思いを実現させていく努力をしていく。最後になるが、亀山先生には大変感謝している。立派にまとめていただき、感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いしたい。

3. その他

本日の意見を受け素案を修正し、2月27日の市議会全員協議会への報告を予定している。修正したものは27日までに委員の皆様へ送付する。現時点では計画素案であり、来年度県と調整していくなかで、重点地域や眺望点について追加や修正を行う可能性があり、最終的な計画を確認していただく機会を設ける予定であることを確認。

以上